

平成 25 年度の川部会の活動進捗報告（フレーム）

1. 川部会の目標とテーマ（課題）

川部会の3ヶ年（平成25年度～27年度）の活動テーマを以下に示す。

（3ヶ年の目標）

- 矢作川本川では、**現況把握・評価（カルテ作成）の取り組みを実践**しながら、**将来のあるべき姿（絵）を描く**
- 家下川では、実施中の活動の**取り組み効果を確認**し、**将来のあるべき姿（絵）を描く**とともに、**他の場所や他の支川への展開方法を検討**
- 地先の課題では、**関係機関調整の場の提供**と**（仮）専門家リストの作成・試行的運用、個別課題の情報共有、解決の方向性検討**の進展

<テーマ>

テーマ1：
生き物の棲みやすい
川づくり（上下流問題）

テーマ2：地先の課題

<解決手法>

本川モデル：課題と解決の方向性の検討、個別課題の取り組み

家下川モデル：課題と解決の方向性の検討、個別課題の取り組み

地先モデル：（仮）専門家リストの作成、個別課題の取り組み

2. 今年度の活動実績

本川モデル、家下川モデル、地先の課題モデルの全8回のWGを実施し、現地調査と意見交換を行った。今年度の活動実績は、以下に示すとおりである。

今年度の活動実績一覧

日時	場所	参加人数	活動内容	
5月30日（金） 18:00-20:00	・豊田市職員会館	25名	第17回WG （家下川モデル）	・今年度の活動計画 ・家下川湛水防除事業について
6月27日（金） 13:00-17:00	・渡合、白浜、加茂川 ・豊田市職員会館	26名	第18回WG （本川モデル）	・渡合地区、白浜工区 ・加茂川合流点段差について
8月25日（月） 13:00-16:20	・矢作川本川 ・豊田市職員会館	21名	第19回WG （本川モデル）	・瀬淵の現地調査 ・（仮）保全エリアマップについて
8月29日（金） 13:00-18:00	・岡崎市矢作川支所 ・岡崎市ホテル学校	28名	第20回WG （地先モデル）	・活動団体ヒアリング、アンケート ・専門家リスト
9月26日（金） 15:00-17:00	・豊田市職員会館	17名	第21回WG （家下川モデル）	・段差解消に関わる関係者との意見交換
10月31日（金） 18:00-20:00	・豊田市職員会館	19名	第22回WG （本川モデル）	・久澄橋下流の瀬について ・豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討委員会
11月14日（金） 13:30-16:50	・常磐学区市民ホーム ・豊田市職員会館	12名	第23回WG （地先モデル）	・活動団体ヒアリング、アンケート ・専門家リスト
12月22日（月） 18:00-20:00	・豊田市職員会館	〇名	第24回WG （全体）	・矢作川の総合土砂管理について ・H26活動のとりまとめに向けて

3. 各テーマの活動進捗と課題

今年度に取り扱った主な活動進捗と課題について、川部会のテーマに沿って以下にまとめる。

<テーマ>	<今年度の活動>	<活動の進捗>
<p>本川モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生き物の移動阻害 ②アーマーコート化 ③微地形の多様性 (瀬淵・ワンドなど) ④外来種・在来種 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 17 回WG (河川事業の情報共有) ・ 第 18 回WG (微地形の多様性、加茂川合流点段差) ・ 第 19 回WG (瀬淵の現地調査・意見交換) ・ 第 22 回WG (失われつつある瀬について) (矢作川河川環境活性化プラン) ・ 第 24 回WG (総合土砂管理・とりまとめ) 	<ul style="list-style-type: none"> [①進捗] ・ 加茂川の段差解消方法について意見交換 [②進捗] ・ 瀬淵, ワンドの情報共有 ・ 「矢作川の河川環境の方向性」についてとりまとめ [③進捗] ・ 微地形の多様性のモニタリング (渡合地区、白浜工区の現地調査) ・ 矢作川漁協との意見交換
<p>家下川モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ①情報不足 ②生き物の移動阻害 ③生き物の棲みかの不足 ④水量不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 17 回WG (家下川湛水防除事業(上郷2期地区)について) ・ 第 21 回WG (段差解消に関わる関係者との意見交換) ・ 第 24 回WG (とりまとめ) 	<ul style="list-style-type: none"> [①進捗] ・ 関係者(管理者)の確認 [②進捗] ・ 関係者との意見交換 ・ 家下川下流域の段差改善の検討 [③進捗] ・ 関係者との意見交換 ・ 承水溝の浚渫方法の提案
<p>地先の課題モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ①活動環境の課題 ②活動推進上の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 20 回WG (活動団体の取組現場の現地調査) ・ 第 23 回WG (活動団体の取組現場の現地調査) ・ 第 24 回WG (とりまとめ) 	<ul style="list-style-type: none"> [①進捗] ・ 活動団体へヒアリング ・ 活動団体アンケートの作成・実施 ・ 個別課題の解決策について情報共有 [②進捗] ・ 活動団体へヒアリング ・ 専門家リスト(たたき台)の作成

(1) 本川モデル

■今年度活動により分かったこと

① 生き物の移動阻害（本支川の合流箇所）について

《生き物の移動阻害の実態》

-
- 。
- 。
- 。



《提案・確認事項》

- 。
- 。
- 。
- 。
- 。

■運営方針に見る活動進捗状況

〈3ヶ年の運営方針〉
① 生き物の移動阻害（本支川の合流箇所）について <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎調査を元にした現地調査の実施、カルテ（案）作成 ・ カルテ（案）に基づく現状評価の実施（支川上流も対象）
② 河床のアーマーコート化と近年後の変遷について（③とも関連） <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も総合土砂管理検討委員会、各ダム管理者との連携・情報共有を基本 ・ 可能であれば、詳細な検討の実施（例：必要な土砂の粒径など）
③ 微地形の多様性（瀬・淵、ワンド）について（②とも関連） <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎調査を元にした現地現状調査の実施、カルテ（案）作成 ・ カルテ（案）に基づく現状評価の実施（場と認識の共有） ・ 可能であれば動態の技術的な検討 ・ 良い瀬淵・ワンドの維持・復元に向けた提言
④ 在来種の減少について <ul style="list-style-type: none"> ・ 在来種の生息状況について情報共有を促進 ・ WGメンバーで「本来、どんな魚や生物がいるべきか」を検討（情報資源活用）
⑤ 外来種対策について <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来種の最新の動向について情報共有 ・ 外来種の駆除活動に参加し、WGメンバーで駆除方法等の改善を検討



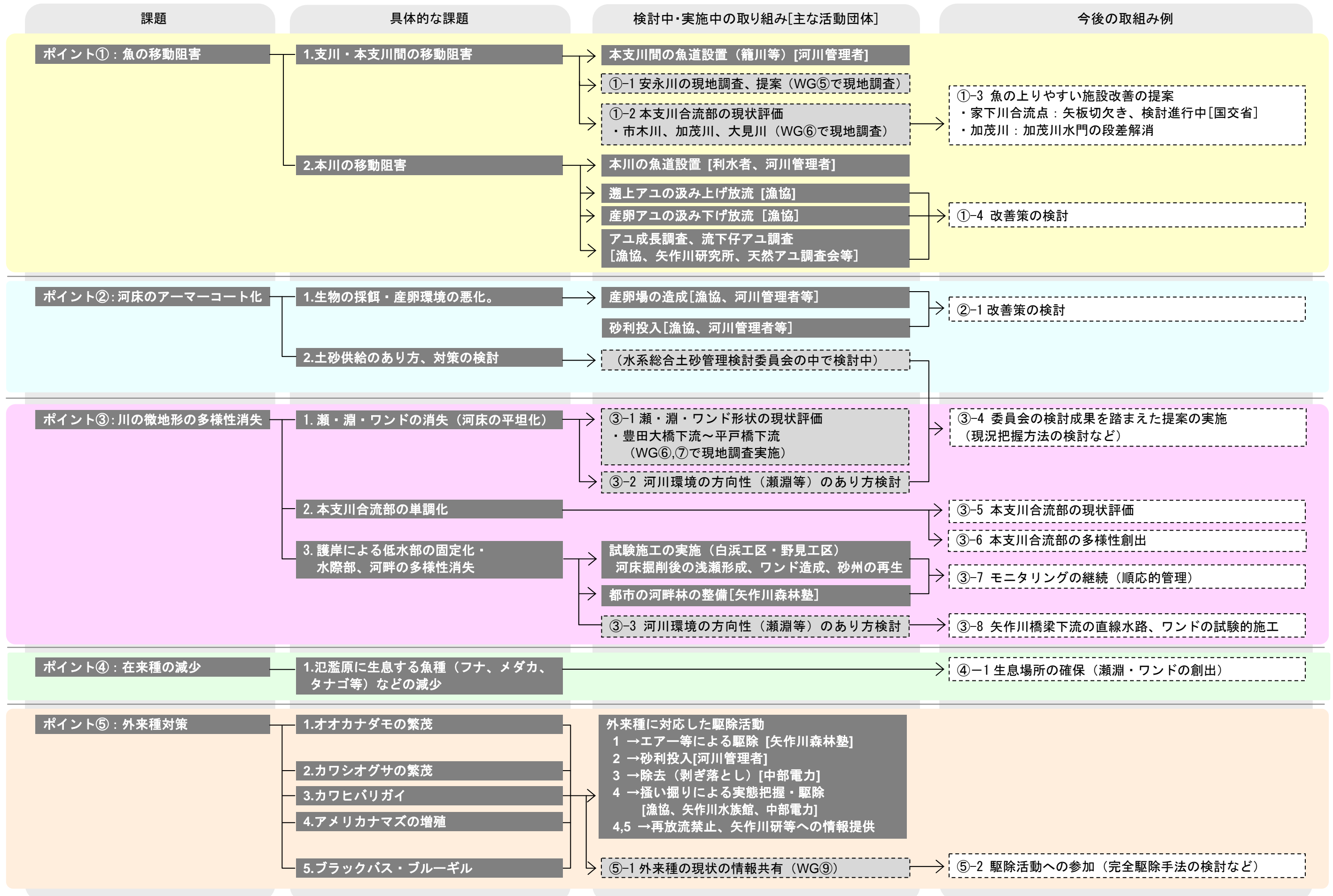
〈活動進捗状況〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ ・
--

■今後の課題

- 。
- 。
- 。

■ 本川モデルの「課題と解決の方向性について（案）」

(本表は、第3回全体会議(2/28)時のデータで、本日の意見交換を踏まえ修正予定)



(※第16回WG・第5回川の地域部会までに出された主な意見を反映したものであり、今後精査が必要である。)

(2) 家下川モデル

■今年度活動により分かったこと

① 生き物の移動阻害について

《生き物の移動阻害の実態》

- 。
- 。
- 。
- 。
- 。

《提案・確認事項》

- 。
- 。
- 。

② 生き物の棲みかの不足について

《生き物の棲みかの不足の実態》

- 。
- 。
- 。
- 。

《提案・確認事項》

- 。

■運営方針に見る活動進捗状況

〈3ヶ年の運営方針〉
① 生き物の移動障害について
<ul style="list-style-type: none">・ 移動障害箇所の情報収集・ 当面の段差解消方法の検討
② 生き物の棲みかの不足について
<ul style="list-style-type: none">・ 「草の植え付け」「水田魚道」「越冬マス」「ブロック水制・堰（越冬場所）」などの設置効果の確認・ その改良方法や他の場所への展開の検討
③ 水量不足について
<ul style="list-style-type: none">・ 水源（家下川、農業用水、地下水など）の情報収集・ 水量確保の様々な可能性の検討



〈評価のまとめ〉
<ul style="list-style-type: none">・・・・

■今後の課題

- 承水溝—長池の段差改善や承水溝の浚渫の提案について、管理者と連携しながら、解決策を検討する必要がある。
- 水源確保については、より詳細な情報収集が必要である。

■ 家下川モデルの「課題と解決の方向性について（案）」

（本表は、第3回全体会議（2/28）時のデータで、本日の意見交換を踏まえ修正予定）



（※第16回WG・第5回川の地域部会までに出された主な意見を反映したものであり、今後精査が必要である。）

(2) 地先の課題モデル

■今年度活動により分かったこと

① 活動環境に関する課題について

《活動環境に関する課題の実態》

- 。
- 。
- 。

《提案・確認事項》

- 。
- 。

② 活動推進上の課題について

《活動推進上の課題の実態》

- 。
- 。
- 。
- 。
- 。

《提案・確認事項》

- 。
- 。
- 。

■運営方針に見る活動進捗状況

〈3ヶ年の運営方針〉
① 活動環境に関する課題について
・ 地先の課題の抽出（活動団体、関係団体へのヒアリングも検討） ・ 個別課題の情報共有と解決の方向性検討
② 活動推進上の課題について
・ 河川空間利用に関する調整（関係機関、市民意見の反映）の場の提供 ・ （仮）専門家リストの作成・試行運用
③ モデル運営上の課題について
・ 地先の活動団体等のリスト化



〈評価のまとめ〉
・
・
・
・

■今後の課題

- 。
- 。
- 。

4. 他部会との連携における活動進捗と課題

■運営方針に見る活動進捗状況

〈3ヶ年の運営方針からみる取り組み状況〉

- ・ 魚の移動阻害について、**情報共有**を行っていく。（山・海との連携）
- ・ 生き物の棲みか（河床アーマーコート化、瀬淵など）に**影響を与える土砂管理**について、引き続き、**情報共有**を行っていく。（山・海との連携）
- ・ **各部会が集まる勉強会等で情報共有し、流域全体のあり方を考える。**



〈評価のまとめ〉

- ・ 魚の移動阻害について、まず、**川部会で情報共有**を進めているところであるが、山・海との連携には至っていない。
- ・ 土砂管理について、総合土砂管理検討委員会の結果を受けて、検討を進める予定であり、検討は未実施。

■連携上の課題

- 。
- 。
- 。